

## 特許出願公告及明細書拔萃

## 特許出願公告拔萃

**純鐵又は不純分少き鐵の形成法** (6年特許公告第4559號、公告6-12-7、大阪市、株式會社日本電解製鐵所) 種々の形狀の純鐵又は不純物少き鐵を不純物を導入することなくして所望の形に造り以て在來銻解によりて此等の鐵より鑄塊を製造し又は該鑄塊より所望の形狀のものを製造する場合に於て爐壁、空氣、瓦斯又は電極等より不純物を導入するのみならず *Mg*, *Si*, *Al*, 等を以て脫酸せざれば銻解せる鐵は凝固に際し沈靜すること能はず爲に密實なる鑄塊を得ること甚困難なるの缺點を除き全然原料の品質を劣下せしむることなくして上記鐵より任意の形成材を容易に製造せんとする目的を以て電解鐵、還元鐵或は其他不純物少なき鐵の片、粒、粉、板、小塊又は「スポンジ」状等のものを此等に不純物を導入する如き空氣或は他の物質との接觸を少からしめ約攝氏900度以上にして熔解點よりも低き高温に熱し其の温度に置いてロール又は其他の手段によりて加壓合體せしめ以て塊、條、板又は其他の所要の成形する純鐵又は不純分少き鐵の加工法。

**高硬度合金** (6年特許公告第4587號、公告6-12-9、仙臺市、金屬材料研究所長)、常溫に於て金剛石に次ぎ黃玉乃至剛玉に匹敵する著大なる硬度を有し硝子切りバイト其他の切削用工具ダイス等に使用せらるゝ比較的安價にして重要なる合金を得んとする目的を以て *B* 10乃至50%、*Ni* 0.5乃至60%及び *Fe* 30乃至80%を含有する高硬度合金。

**金屬鑄塊を製造する方法** (6年特許公告第4588號、公告6-12-9、獨逸、エルンスト、ロート) 純良なる粒子或は微少組織よりなる鑄塊を生成し、細孔、氣泡等を無からしめんとする目的を以て豫め熱したる鑄型中に銻解金屬を注入して填充過程中に於ける凝固を防止し鑄造金屬をして凝固か鑄型の一側面に對してのみ完全に行はるる如く冷却することを特徴とする金屬鑄塊を製造する方法。

**銻爐** (6年特許公告第4662號、公告6-12-14、名古屋市、久保田長太郎)、簡單なる構成により水平方向氣流をして極めて容易確實に伏斜方向と側向方向と下向方向とに散流せしめ經濟的送風狀況に於て能く爐底の隅及羽口間の銻鐵をも熔融せしめ且つ爐底隅及羽口間に於ける熔滓をも析出せしむる目的を以て爐體の環風環罐に上部には扁平なる伏斜的噴氣孔と其直下に圓形水平的噴氣孔とを並設せしめたる羽口構成子を數個設け前記伏斜

的噴氣孔より噴出する扁平状伏斜方向氣流の壓迫的流勢により水平的噴氣孔より噴出する圓柱状水平方向氣流を抑制して伏射方向と側向方向と下向方向とに散流せしむることを特徴とする銻爐。

**微金屬、砂分離裝置** (6年特許公告第4735號、公告6-12-16、朝鮮京城府古市町、荻田新次郎)。

**特種鑄型製作法** (6年特許公告第4764號、公告6-12-18、横須賀市、海軍大臣)、鑄型製造の際中具型を個々に製作するの繁を省き複雑なる鑄型を極めて正確容易に製作し優良にして安價なる鑄物を得んとする目的を以て攝氏250度以下の温度にて熔融すべき合金にて豫め模型を製作し鑄型材中に埋没し之を加熱することに依り該合金を熔蝕流出せしむることを特徴とする特種鑄型製作法

**鑄型材** (6年特許公告第4766號、公告6-12-18、東京市、株式會社芝浦製作所)、強靱且抗熱にして鑄物中より容易に之を除去し得る鑄型材料を得んとする目的を以て適當なる粒狀鑄型材料と強靱且抗熱状態に轉化せられ且其主成分は鑄型を使用する鑄物の熔融金屬の温度に於て大部分蒸發する如きアルキード樹脂の結合劑とより成る鑄型材。

**押湯鑄型** (6年特許公告第4777號、公告6-12-18、米國、ウォルター・ミラー・チャーマン)、從來の押湯鑄型の有する多くの缺點を艾除し鋼塊に附着して再熱爐に運ばるゝ耐火煉瓦等の量を最少となし少許の修理を施すのみにて反覆使用し得べくし以て經費を節約し且つ優良なる鋼塊を得んとする目的を以て鑄造作業中特に主鑄型内の銻融鋼上に浮かへて支持せしむべくなしたる浮押湯鑄型に於て其裏張を外框の下方に於て上下の兩段に分ち熔融鋼の上面に接觸すべき該下段の裏張を外框の下周縁迄延長せしめ之を外框に對し分離し易き状態に適宜に取付けたることを特徴とする押湯鑄型。

**磁性合金** (6年特許公告第4797號、公告6-12-21、東京市、古河電氣工業株式會社)、海底電話線裝荷用材料として尤も適當なる初導磁率並びに電氣抵抗を兼備せる優秀なる磁性合金を得んとする目的を以て *Fe*. 15~78%、*Ni*. 20~83%、*C*. 0.6~2.7%、*Cr*. 0.3~13.5%、*Si*. 0.1~4.5%、*Mn*. 0.5~2.0% 及此等の不純物を含有せることを特徴とする磁性合金。

**合金** (6年特許公告第4816號、公告6-12-21、仙臺市、金屬材料研究所長)、卑金屬電對に於てクローム量の變化に依りて著しく熱電力の變化なき特殊合金を得る目的を以て、*Cr*. 10~25%、*Ni*. 20~55%、*Co*. 10% 以

下を含有し殘部  $Fe$  より成り標準狀體に於て非磁性を有する合金。

**精密器械用焼入雌螺子製造法** (6年特許公告第 4819 號、公告 6-12-21、東京府、津上退助)、

**鋼球製造法** (6年特許公告第 4825 號、公告 6-12-21、東京市、藤林君平、外 1 名)、優良なる鋼球を同時に且簡易に多量製造せんとする目的を以て多數の粒狀鋼を攝氏 700 度乃至 1000 度に赤熱し之を攪拌機又は震盪機中に於て攪拌又は震盪して該赤熱粒狀鋼を各自相互に衝突せしめ且攪拌機又は震盪機の各部にも衝突せしめて壓縮し以て粒狀鋼の凸部を壓し同時に鍛練することより成る鋼球製造法。

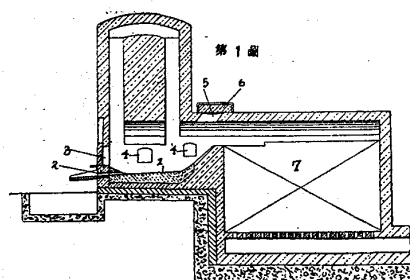
**「ブルーム」「スラブ」及「ピレット」鑄造法の改良** (6年特許公告第 4835 號、公告 6-12-23、米國、タイムケン、ホールディング、エンド、デイヴエロツプメント、コムパニー)。

**熔融金屬の誘導裝置** (6年特許公告第 4836 號、公告 6-12-23、獨國、クレメル、エンド、コムパニー)。

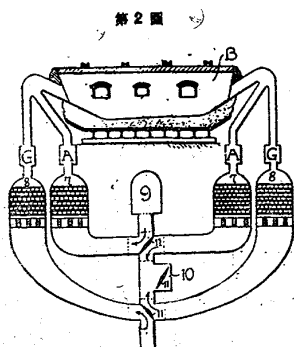
**工具の刃先硬化法** (6年特許公告第 4851 號、公告 6-12-23、東京市、株式會社日立製作所)、硬度大なる優良なる刃先を有する工具を極めて安價に製造せんとする目的を以て粉末  $W$  に 3%~10% の粉末  $C$  を混和し之に適量の糊精或は水を加へて混捏したるものを工具の刃先に塗布したる後電弧熱に依り刃先を「タンクステン・カーバイト」化せしむ可くせる事を特徴とせる工具の刃先硬化法。

**特許明細書拔萃**

**「シーメンスマルチン」式平爐** (特許第 93551 號、



特許 6-11-11、横濱市、ニコラス・イー・スカレドフ外 1 名)、平爐の廢熱及熱再生室を通過せる熱空氣に依り

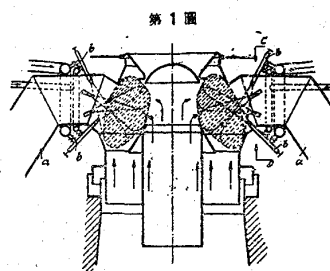


平爐裝入用銹鐵又は屑鋼を豫め熔解して平爐に要する燃料を節約し作業を經濟的に行ふと共に操作時間の短縮を圖らんとする目的を以て平爐と空氣用熱再生室間に銹鐵又は屑鋼を豫め熔解すべき氣密的補助溶解爐を熱再生室に接して設くるこ

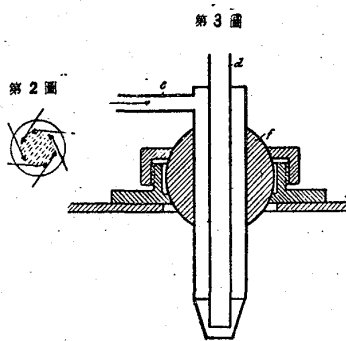
とを特徴とするシーメンスマルチン式平爐。

**アルミニウム合金** (特許第 93660 號、特許 6-11-19、東京市、古河電氣工業株式會社)、質強靱にして比較的耐腐蝕性大なる  $Al$  合金を得んとする目的を以て  $Cu$ . 0.1~5.0%、 $Cd$ . 0.1~3.0%、 $Li$ . 0.01~5.0%、殘部  $Al$  及不純物として  $Si$  及  $Fe$  の微量を含有する  $Al$  合金。

**堅爐に於ける粉塵損失を減退せしむる方法** (特許第 93684 號、特許 6-11-21、獨國、ゲオルグ、アイヘンベルグ外 1 名)、爐瓦斯流に伴はれて排出せらるる粉塵を爐瓦斯流より爐内に於て分離し更に沈澱せしめて粉塵の損失を少なからしめんとする目的を以て加壓せる清淨爐瓦斯、水蒸氣又は空氣を爐の咽喉部填裝孔の下部に於て爐の全斷面特に爐瓦斯排



出口の全斷面を掩ふ如く而も裝料を通過したる直後の爐瓦斯流に加壓水を噴射して爐瓦斯流中に伴はれたる粉塵を濕し且爐瓦斯流全體に渦流を生ぜしむる如く噴射して爐瓦斯流中の粉塵を沈澱せしむる



を特徴とする堅爐に於ける粉塵損失を減退せしむる方法

**高磁力合金** (特許第 93787 號、特許 6-12-1、東京府、三島徳七)、鑄造後焼入する事無く且つ熱變化及機械的衝動及散亂磁場等に關係無く超高磁力を有し比重比較的少にして耐腐蝕性なると共に製作容易なる合金を經濟的に得んとする目的を以て  $Al$ . 1~15%、 $Ni$ . 5~30%、 $Cr$ . 1~4.99%、 $C$ . 1.0% 以下殘部鐵を含有せる高磁力合金。

**鐵及其合金の滲炭法に關する改良** (特許第 93794 號、特許 6-12-3、佛國、アレキサンドル、フォリエ、外 1 名)、 $Mn$ .  $Ni$ .  $Cr$ .  $Ti$ .  $W$  の如き金屬を一種の固溶體として鐵又は其合金に結合せしめ以て鐵及其合金本來の性質を改善し種々の用途に供せんとする目的を以て必要に應じ垢皮を除去し且洗淨を加へたる被處理部分を微碎したる  $Al$  又は  $Al$  と  $Mg$  との合金及  $Fe$  又は其合金の部分に結合すべき金屬の酸化物又は酸化焙燒鐵石の混合物中に埋置し之に還元せんとする酸化物と同一なる金屬の鹽化物の一又は以上を 2~10% の割合に於て加へ得たる混合物を次に密閉容器内に高溫度に保持せしむることより成る鐵又は其合金の滲炭法。